

科目名	単位数	教科書	学年・学級・対象コース	必修・選択	学期
音楽Ⅰ	2単位	教育芸術社	1年 3～8 特別進学・文理コース	選択必修	全学期

## 1 学習の到達目標

小中学校の音楽の授業を発展させ、曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解します。また、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって鑑賞の基礎的な能力と態度を育てるとともに、感性を高め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を養います。

## 2 学習の計画

学期	単元名	学習のねらい
1 学 期	歌唱① ①☑西原高校校歌 ②☑Lemon ③☑翼をください ④☑見上げてごらん夜の星を ※☑間考査〈実技試験〉 「校歌」を暗唱で歌う。  器楽①～三線～  日本の民謡や民族芸能の特徴を知る  日本語の響き、歌詞の内容や背景を理解して、ふさわしい歌声で表現しよう カンタータの歌詞や曲全体の意味を理解し合唱表現に生かそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西原高校生としての自覚を持たせる</li> <li>・入学の喜びをのびのびと表現する。</li> <li>・発声の基礎を学ぶと共に歌唱に対する意欲を育てる。</li> <li>・歌唱曲の発音の仕方を学ぶ。</li> <li>・歌詞に隠されている情景を創造しながら表現の工夫ができるようにする。</li> <li>・校歌が暗唱して歌えるようにする。</li> <li>・三線を通して三線音楽の基礎を学ぶと共に郷土の音楽に対する意欲を育てる</li> <li>・各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解し、音楽表現の共通性や固有性について考える。</li> <li>・旋律と歌詞のもつ言葉のリズムとの関係に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を育てる。</li> <li>・合唱による表現の特性を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌唱する技能を身に付ける。</li> </ul>
2 学 期	リズムパターンを変化させたりして、リズム合奏を楽しもう  詩、短歌、俳句をもとにイメージを膨らまして音楽を作ろう  イタリア語の発音の特徴を促え、楽しみながら歌おう  2つの「野ばら」を、それぞれの雰囲気を生かして歌おう  オペラならではの表現を感じ取ろう  物語と音楽の関わりを理解しよう  交響曲を聴いて曲に込められた思いを感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付けるとともに，他者と協働しながらイメージをもって表現を工夫して演奏する。</li> <li>・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，自己のイメージをもって創意工夫して創作表現する技能を身に付けることができる。</li> <li>・音楽の特徴と文化・歴史的背景との関わりを理解し、イメージをもって表現する。</li> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりを理解し，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付ける。</li> <li>・音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりを理解する。</li> <li>・ミュージカルの総合芸術において物語と音楽が関わり合いなどから，どのような表現上の効果をもたらしているか，音楽と他の文化が互いにどのように影響しあっているかを考える。</li> <li>・曲の構成やシラーによる歌詞の内容を理解して，この曲に込められた作曲者の思いについて話し合い，理解する。</li> </ul>

3 学 期	器楽合奏を楽しもう	・器楽アンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして演奏したり、他者との調和を意識して演奏したりする技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する。
	変奏や編曲に挑戦して、作品を発表しよう	・変奏曲や編曲について理解するとともに、旋律をもとに創意工夫して変奏曲を作ったり、器楽アンサンブルに編曲したりして、創作や器楽合奏に親しむ。
	歌詞に込められた主張を理解して歌唱しよう	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解し、曲にふさわしい歌唱表現の技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌うとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える。

### 3 評価の観点

知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な基礎的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚しそれらの働きを感受しながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもっている。音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能…ワークシート、実技テスト
思考・判断・表現…ワークシート、観察、実技テスト
主体的に学習に取り組む態度…ワークシート、発言内容、観察
以上の3観点に基づき総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の授業では、歌唱、器楽の分野で音楽体験ができます。さまざまなジャンルに挑戦し、音楽を一生楽しめるような技能を身につけましょう。</li> <li>・鑑賞の授業では、聴くだけでなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身につけましょう。</li> </ul>
---